

## スタディサプリ（スタサブ）の活用状況等について

初冬の候 保護者の皆様にはますますご健勝のことと存じます。平素から本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本校では、ICTを活用した「個別最適な学習」の実践に向け、ICT活用委員会を中心に各教科で検討を重ねてまいりました。その結果、本校生徒の現状を考慮すると、スタサブを補助教材として導入するのが最も有効であるとの結論に達し、2学期からスタサブを導入し、「個別最適な学習」を取り入れた授業を行っているところです。

スタサブでは、到達度テストにより現在の自分の学力だけでなく弱点分野を把握することができます。また、その結果から、弱点を補強し学力を向上させるには、どの単元のどの講座を視聴し、どのような問題を解いていけばよいかを指示してくれるので、自分で学び直しを行うことができるところがスタサブの一番の良さです。

このような利点から、現在全国で2900校余りが導入しているとのことですが、講座の視聴等の指示があっても、自分でやらなければ意味がありません。そのために、本校では学び直しを生徒に任せるのではなく、確実に生徒が取り組めるよう授業の一部をスタサブを活用した自学の時間にあてています。このようにスタサブを補助教材として使用することで、効率的な学習が促進されるようになり、生徒からは「授業で分からなかった部分が、スタディサプリで理解できることもあるのがいい」といった声もあります。

しかし、スタサブはあくまで補助教材であり、学習指導の中心は教員による授業であることに変わりはありません。その日にあった授業の中で理解できなかったところがあれば、放課後等に教員が個別に生徒を指導したり、質問に対応したりするのはこれまでと同じです。個に手厚い指導は、本校の伝統であり今後とも継続してまいります。

なお、スタサブ活用に係る経費については、業者との交渉により本年度は無料となっておりますが、来年度（令和5年4月）からは年間6,160円（月額513円）の経費が必要となります。保護者の皆様に経済的負担をお願いするのは誠に恐縮ですが、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

新田青雲中等教育学校長 池田 浩